

令和4年1月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,149	304,192	303,200	304,078	992	114
2 調定水量	m <sup>3</sup>	643,499	6,456,773	6,376,000	6,517,135	80,773	△ 60,362
3 調定料金(税抜)	円	171,762,159	1,729,856,998	1,720,000,000	1,746,125,195	9,856,998	△ 16,268,197
4 口振加入件数	件	24,897	250,870	—	251,049	—	△ 179

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,656	186,214	182,580	183,389	3,634	2,825
6 調定水量	m <sup>3</sup>	401,148	3,942,551	3,835,800	3,934,013	106,751	8,538
7 調定料金(税抜)	円	63,398,883	623,765,140	604,767,000	620,589,858	18,998,140	3,175,282

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,619	—	77,425	△ 806
9 給水件数	件	29,975	—	30,003	△ 28
10 開栓処理件数	件	143	2,282	2,305	△ 23
11 閉栓処理件数	件	185	2,480	2,445	35
12 給水工事設計審査	件	41	481	533	△ 52
13 給水工事竣工検査	件	39	524	696	△ 172
14 経年メーター交換	件	93	3,201	3,418	△ 217
15 メーター口径変更	件	5	61	49	12
16 督促状発送数	件	1,288	13,318	13,241	77
17 月末停止件数	件	88	—	113	△ 25

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	17	299	295	4
19 排水設備工事完了検査	件	15	272	314	△ 42

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	197,260,615円	89.64%	198,032,890円	89.69%
21 過年度分	3,798,326円	98.03%	4,330,750円	97.73%
22 計	201,058,941円	-	202,363,640円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	83,253,179円	87.87%	81,596,140円	88.06%
24 過年度分	655,302円	99.17%	797,719円	98.96%
25 計	83,908,481円	-	82,393,859円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	1,611,900円	95.64%	2,151,860円	95.01%
27 過年度分	2,313,100円	13.34%	2,388,100円	27.69%
28 計	3,925,000円	-	4,539,960円	-

特 記 事 項

1. 1月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は190,031千円(税込)で、前月期に比べて7,241千円の増、対前年同月比では1,341千円の増となっています。営業収益は190,401千円、営業外収益は事務手数料など5,086千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など82,976千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金等462千円の執行となりました。支出は、工事請負費や職員給与費などを含む事務費として24,719千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は69,739千円(税込)で、前月期に比べて2,769千円の増、対前年同月比では2,195千円の増となっています。営業収益は78,787千円となりました。営業外収益は、他会計補助金など122,522千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など83,814千円、営業外費用は企業債利息など3,450千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、県補助金及び他会計出資金として159,633千円の執行となりました。支出は、工事請負費や企業債償還金として132,632千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 料金等あり方検討委員会及び上下水道事業運営審議会が開催されました

第4回登米市水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会が1月25日(火)に開催されました。水道事業の財政計画及び総括原価の算定について審議を行いました。委員会は、新型コロナウイルス感染症対策のためWEB方式で開催しました。委員からは目標経営数値の考え方についてや資産維持率の設定基準等などの質問を頂きました。また、第4回上下水道事業運営審議会が1月31日(月)に開催され、水道事業の財政計画、令和4年度当初予算及び保呂羽浄水場再構築事業についての審議を行いました。委員からは施設のダウンサイジングによる経費の軽減額などの質問や事業の「見える化」を推進し、市民に対しさらに事業内容について広報などを通じ、理解に繋がるよう努力したいとの提言を頂きました。



【あり方検討委員会の様子】



【上下水道事業運営審議会の様子】

(2) 資金管理運用委員会を開催

1月17日(月)に資金管理運用委員会を開催しました。1月に2億円、2月に1億円の定期預金が満期を迎えることから、今後の資金運用について協議を行い、みやぎ登米農協に2億円、また預金利息の見積合せを行い、仙北信用組合へ2億円を定期預金することとしました。

令和4年1月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	848,503	8,325,455	7,799,440	8,310,269	526,015	15,186
総配水量	789,743	7,777,296	7,262,060	7,730,817	515,236	46,479
1 有効水量	698,965	6,915,287	6,880,800	7,106,153	34,487	△ 190,866
(1) 有収水量	649,590	6,501,292	6,420,000	6,564,455	81,292	△ 63,163
(2) 無収水量	49,375	413,995	460,800	541,698	△ 46,805	△ 127,703
2 無効水量	90,778	862,009	381,260	624,664	480,749	237,345
(1) 漏水量	89,978	857,924	375,000	621,269	482,924	236,655
(2) その他無効水量	800	4,085	6,260	3,395	△ 2,175	690
3 有収率	82.25%	83.59%	88.40%	84.91%	-4.81%	-1.32%

※ 当月期の最大配水量は、31日（金）に記録した【26,927m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	1	19,626	0	0	834	95.9%
浄水施設整備事業	6	57,420	3	42,167	2	5,346	9,907	82.7%
配給水施設整備事業	54	1,164,918	32	776,379	11	128,792	259,747	77.7%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 大巻取水口の浚渫作業を実施

1月13日（木）石越浄水場大巻取水場において、取水口（迫川）付近に堆積した土砂の浚渫作業を実施しました。この作業は、河川に堆積した土砂が取水樋管（堤防を貫通して設置した暗渠）に流入し取水の阻害となることを未然に防止すると流水路を確保することで、安定した取水を図ることを目的として行うものです。

この作業は河川の渇水期に年1回実施します。



【浚渫作業状況】

2 水中ロボットによる配水池内部清掃の実施について

1月17日（月）から19日（水）まで石越3号配水池（容量700m³）において、配水池内部の清掃を実施しました。この作業は、水中ロボットを使用することで、断水することなく通常通り水道水の供給を行いながら、配水池内部の堆積物（水あか・配管錆等の沈殿物）を除去するものです。また、併せて内部の点検も行いました。今年度は外に2池の清掃を実施しました。



【水中ロボット清掃作業  
実施状況(イメージ)】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	55	73.527
付属施設	0	0.000	
給水装置	78	59.198	
計	133	132.725	

【漏水調査結果：1月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）  
約876,017円/日当たり  
算定：R2年度給水原価 275.01円  
累計漏水量 132.725m³/h  
132.725m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	53,386	553,050	552,306	744	3処理場
米谷・錦織処理区	11,547	118,915	124,558	△ 5,643	
豊里処理区	30,507	313,501	303,515	9,986	
津山処理区	11,332	120,634	124,233	△ 3,599	
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	12,716	128,338	130,522	△ 2,184	
農業集落排水	104,385	1,140,937	1,138,776	2,161	24処理場
迫地区	9,126	99,581	91,136	8,445	
東和地区	3,013	30,772	30,424	348	
中田地区	29,226	313,023	308,180	4,843	※水量訂正
豊里地区	1,951	20,014	20,773	△ 759	
米山地区	41,569	476,296	488,330	△ 12,035	※水量訂正
南方地区	19,501	201,251	199,933	1,318	R3.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	42,946	419,373	405,975	13,398	1,934基
合計	466,281	4,929,471	4,605,972	323,499	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

※農集排の中田・米山地区における水量の訂正は、石森・新小路・桜岡第二地区の流量計の故障によるもの。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	552,070	13	381,609	0	46,646	123,815	77.6%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	1	15,950	0	0	440	97.3%
処理施設整備事業	93	414,734	19	233,931	69	94,304	86,499	79.1%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

※浄化槽整備事業の受付は、予定件数の80件となり12月末で終了しました。（受付件数の実績：86件）

特記事項

1 下水道処理施設の放流水の水質検査を実施

令和4年1月12日に南方町沢田地区、新高石地区、畑岡地区の農業集落排水処理施設において、宮城県石巻保健所による下水道処理施設の放流水の水質検査が行われました。今回の検査において、3処理施設の放流水は全て水質基準値内でした。



【検査の状況「畑岡地区」】

2 中田町宝江新井田地区外の舗装復旧の完了

令和4年1月14日に中田町宝江新井田地区外の舗装復旧が完了しました。この工事は、過年度に管渠の埋設を実施し仮復旧の状態だった、中田町宝江新井田及び中田町石森地内の道路舗装の本復旧を行ったものです。この工事においては、各地区の合計で施工延長L=418.0m、舗装面積A=1,890m²の復旧を実施しました。



【舗装本復旧の完了】